



開校23年目

「よく学び 心ゆたかに やりぬく子」

新座小だより

学校 HP 随時更新中



埼玉県新座市新座 3-4-1 TEL 048-478-2760
<http://www.c-niiza.ed.jp/e-niiza>

令和8年度夏休み号
児童数：296名

子供の「好き」に関心を寄せる

校長 小俣 優子



2年生 どうもろこしの皮むき

今日で1学期が終了します。

4月当初の子供たちは少し緊張した様子でしたが、新しい学年やクラスにも慣れ、今では学習や運動、行事などに懸命に取り組む姿が見られます。入学、進級したばかりの頃を思うと、この4か月足らずの間にできることが増え、心も身体も着実に成長していることが感じられます。

いよいよ明日から子供たちが楽しみにしている夏休みが始まります。

先日ある児童が、インタビューに来ました。

「校長先生は小学生の時、何に夢中になっていましたか？」

「うーん。なんだろう。ドッジボールかな。」

「いつやっていたんですか？」

「放課後とか。夏休みは毎日のようにやっていたよ。」

というような会話をしました。

その児童は意外だったと驚きながら帰っていきましたが、大会があったこともあり、また自分自身が好きだったため、小学校の夏休みと言えばドッジボールという思い出があります。

子供たちは、日々あらゆることに興味や関心をもちながら生活しています。その興味、関心は一人一人異なり、虫や植物、ものづくり、本、音楽、スポーツなど、さまざまな世界へと広がっています。この「好き」という気持ちこそが、生き生きと生きていく力となり、学びの原動力になるものと考えます。これは、自ら考え、挑戦する力を育てるための大切な種です。

夏休みは、この「好き」を存分に伸ばすことのできる絶好の機会です。ぜひ、ご家庭でも、お子さんが夢中になっていることに関心を寄せ、「どんなところが面白いの?」「一緒にやってみようか」と声をかけながら、同じ時間を楽しんでいただければ幸いです。大人が興味を示し、一緒に驚いたり喜んだりする経験は、子供たちにとって大きな喜びとなり、「もっと知りたい」「もっとやってみよう」という意欲につながっていきます。

小学校での夏休みは6回しかありません。6分の1のこの夏休みが、子供たち一人一人の好奇心をさらに広げ、ご家族にとってもかけがえのない時間となることを願っています。

最後になりますが、保護者の皆様や地域の皆様には、1学期間、本校の教育活動にご理解ご協力を賜り、ありがとうございました。夏休みの間も、子供たちを温かく見守っていただきますようお願いいたします。